

『だってたのしくたべたいんだもん』 リー・ホジキンソン×呉藤加代子 対談

LEIGH HODGKINSON



GOTO KAYOKO

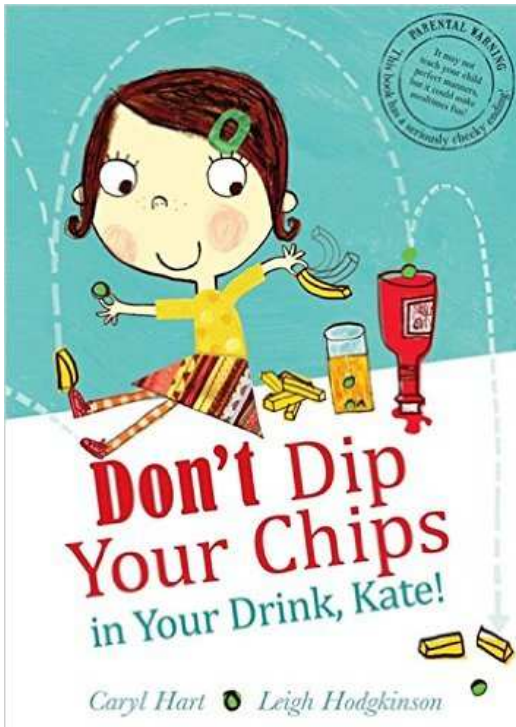


Q1 (呉藤加代子):

絵本を手にとったとき、絵に惹かれてしまいました。ケイトちゃんのcheeky (ちゃっかり、おちゃめ)な表情、とっても可愛いですね。モデルはいらっしゃいますか？

A1 (リー・ホジキンソン):

ケイトをおちゃめで元気いっぱいな子にしたいくて、毛先をクリッとカールさせたの (小さいころのわたしみたいに)。ちょっぴりクセっ毛、だけどパツチン留めがキツチリ、おさえてるのよ。



Q2 (呉藤加代子) :

この本は2016年英国フェア(数か所の都市百貨店にて開催)で展示販売されました。英国フェアでお会いした年配の女性客の方が「孫にも読んであげるけど、かわいいから自分で持っておきたい」と言って購入されました。絵が魅力的で、特に表紙の絵に惹きつけられます。大人のみならずも素敵だと思っているくらいです。

A2: (リー・ホジキンソン) :

とっても素敵なのが聞けて、すごくうれしい！大人の人が絵本やイラストに関心を寄せることって、素晴らしいじゃない。「絵をなんとなく子どもっぽい」とか、「大人向けに描かれるべき」、という考えってホント頭にくる。どこへいってもビジュアルとイメージがいっぱいあふれている世界にしながら、そんな時代遅れの発想はもう意味がないし、おはなしにもならないわ。いいものはいいの！

Q3 (呉藤加代子) :

お子さんたちはこの本を読んでどう言っていましたか？

A3 (リー・ホジキンソン) :

お城に行って女王さまと一緒にごはん食べられるかなあ？て聞いてくるの。

Q4 (呉藤加代子) :

ご自身はケイトちゃんのような子供でしたか？

A4: (リー・ホジキンソン) :

ちょっぴりね。食事のマナーよくはなかったし、母が私にサラダを食べさせようとしたときはいつもこっそり野菜をイスに敷いてたの。サラダ食べなくてすむもん！
食事のあと、母はイスのうえでペシャンコにつぶれたレタスを見る羽目になってたわ。
今でもそのこと思い出したりして、家族で笑っているのよ。

Q5 (呉藤加代子) :

とても息の合った絵本に仕上がっています！キャリルさんとのコラボでエピソードをいくつか教えていただけませんか？きっかけやどのようにお仕事をご一緒になさったのか、興味あります。

A5: (リー・ホジキンソン) :

キャリルの素晴らしい文章が自分のエージェントから送られてきて、もう一目ですごくおもしろいと思ったの。そのときまでは、だれかの文章にイラストを描くことがなくて・・・自分の文章だけにしていた。でもキャリルの文章一つ一つの描写や食べ物、なにもかも気にいってしまって、すぐイメージが浮かびあがってきたの。ドでかいお城のなかを小さな女の子たちがちょこまか走り回って、思いっきり楽しんでいる。(キャリルと二人で決めたのよ。
女王さまをケイトと同じように小生意気な女の子にしよう、って。もっと楽しくなるし入りこみやすいでしょ。それに、イギリスの女王さまに似てる、似てないの悩みどころも意見交換できるし。
)絶対にこのおはなしのイラスト、やりたかったし、やらないといけなかったの！

Q6 (呉藤加代子) :

私は世の中の「楽しいこと」「素晴らしい事・人」を多くの人に伝えたくてライターをしてきました。リーさんがイラストレーター・アニメーターになった理由は？

A6: (リー・ホジキンソン) :

創りだすことって、その人そのものだと思う。私自身、意識してやってみようとか、やらなきゃと思ってやっているのではなくて・・・こういう創作(書く、イラスト、アニメ製作、物作り)をしていないと、さびしくて自分が自分でない気がする。いつもアイデアが頭いっぱいあって、いろんな可能性にワクワク・・・たとえば物語、自由にクラフト、絵、商品。とにかくモノづくりが好きで好きで、「なんかつまんない」という人のこと、もうわかんない・・・やりたいことがありすぎて、たいくつするヒマ、これっぽっちもないの！

Q7 (呉藤加代子):

随所に遊び心が感じられる絵本ですね。そこで質問があります。ケイトちゃんのみドルネームPはpea(豆)を連想させ、彼女のワンピースもグリーンピース(pea)色。この辺りも仕掛けとして取り入れたものですか？

A7 (リー・ホジキンソン):

はい、正解・・・よくできました！ちょっとしたオチやヒント、こまごましたモノを入れて見つけてもらうの大好き！本の中のこういうモノ、子どもは探し出そうとするの大好きね。それに本はホントに特別のもので、1ページ / 1コマを好きなだけずっと見ていられる。何回も読み返せば、またちょっとした新しい発見ができていいのよ。たとえば、ケイトのお母さんが「ごはんおしまいにして上にいきなさい」、というページで見つけたかも。ケイトのお皿に残ってる食べ物が悲しい顔になっているでしょ。

Q8 (呉藤加代子):

絵本を完成させるうえで苦労した点はありますか？

A8 (リー・ホジキンソン):

わたしが自分でおはなし書くときには、ぜったいぜったい入れないものがあった・・・馬、自転車、車・・・だって完全に興味のないものを描くなんて考えられないでしょ。だからこの本で車の(ケイトをお城まで乗せている)場面に気づいたときは少し心配しちゃった！でも実際の話、腹をくくって描いてみた車が(なかなか素敵なお城のしやれた車に)できて、ホントに楽しかった。今ではそのイラスト、大のお気にいりよ！

Q9 (呉藤加代子):

どのページが一番気に入っていますか？

A9 (リー・ホジキンソン):

お城の部分いろいろ。小さい子どもがドでかいお城で小さく見えるところ、大好きよ。おいしいケーキもゼンブホントに喜んで描いてた。工房(そのときはロンドン)のちょうどとなりが素敵なお城屋さんだったの。だからケーキ屋さんに入って『調査』よ！

Q10 (呉藤加代子):

日本の読者は絵本をひと目見て「すっごくカワイイ！」と口々に言います。色鮮やかな絵が人気ですが、コラージュにした特別な理由はありますか？

A10 (リー・ホジキンソン):

ずっとコラージュで作ることが大好きで、わたしのアート作品はいろんな技法をミックスしていることがほとんど。パターン、色、素材感のあるものを平面的な単色や力強いくっきりしたインク線の横にもつくと、すごく大胆、グラフィックが映えていいの。いろんな技法で化学反応を起こして創り出すの大好き。いつも楽しくなっちゃって、仕事というよりもお遊び感覚ね。

Q11 (呉藤加代子):

とてもかわいい絵本ですが、キャリルさんの物語を初めて読んだ時はどのように感じましたか？

A11 (リー・ホジキンソン):

いろんなことをいっぱい、いきいきとした絵で描き出せる物語だと感じたの。全く違う場所の設定(ケイトのおうちと王室のお城)が気に入ったの。超速くて楽しいローラーコースターに乗っている気分、だから一役担えて光栄だったわよ。



Q12 (呉藤加代子) :

リーさんは作家でもあります。違う作家とのコラボレートは初めてですか？
一緒にお仕事をした感想は？

A12 (リー・ホジキンソン) :

そう、初めてこの本で他の作家のおはなしにイラストを描いたの。二冊目のケイトと家族の本もね。(主人公、お兄ちゃんのフレッドがお着替え。“Don't put your Pants on your Head Fred”：直訳「パンツかぶらないで、フレッド」)。あと二、三人他の作家のイラストも手がけてきたの。やってホント楽しい。他の人の言葉をイラストにすると違う経験ができて・・・つま先までピンと気をつめ、微妙に自分が書いた文とは違う感じで向き合えるはずよ。

Q13 (呉藤加代子) :

イラストで、他の作家さんのおはなしとご自身が作ったおはなしを描きだすとき、どのような違いを感じますか？

A13 (リー・ホジキンソン) :

先ほどお答えしたように、他の方の言葉を描きだすとき、イマイチすんなりといかないし、ぎこちないと思うこともあるけど、新鮮な気持ちといろんなモノの見方が持てると思う。・・・いつも創造力や好奇心を持ちつづけることが欠かせないわね。

Q14 (呉藤加代子) :

私は日本の地方都市で暮らしています。リーさんもカントリーサイドに住んでいると、お聞きしていますが、今いる場所の魅力をお願いします。

A14 (リー・ホジキンソン) :

ルイスという歴史のある素敵な海辺の町に住んでいるの。古城があって、本屋、珈琲店、パブもいっぱい！ここに引っ越してきたのは、ホントにクリエイティブ精神みなぎる町そのものだから。わたしたち夫婦にとって大事なことなの。創作活動が盛んで、作家、画家、イラストレーター、ミュージシャン、モノづくりをする人たち・・・だからすぐにいきいきとして、「これやろう」という気分になれる。町中を歩いて、人を見て、まわりのなにかに気づくだけでね。

Q15 (呉藤加代子) :

私はパソコンで仕事をする時はいつもコーヒーを飲んでいます。英国人は1日に6回、紅茶を飲むと言われていますが、仕事でもやはり紅茶ですか？

A15 (リー・ホジキンソン) :

朝は必ずはちみつ入りのチャイ・・・そして昼下がりになどにはレディ・グレイ・ティー(アール・グレイに似てるけどオレンジ入り)がいいの。英国人は紅茶をたくさん飲むというのは少し古い言い伝えで・・・知り合いはほとんどコーヒー党だと思うわ。

Q16 (呉藤加代子) :

最後に日本の読者にひと言をお願いします。

A16 (リー・ホジキンソン) :

わたしの作品楽しんでもらえたかしら。そして、読んでくれてありがとう！作家はすごく特別なありがたい仕事で、子どものために本を書きイラストも手がけ、恵まれていると思う。自分の仕事に喜びを持って、夢中になることって大事。だって仕事してる時間はすごく長いもん。この仕事でとてもラッキーで幸せだと思う。

Q17 (呉藤加代子) :

また訳せる日を楽しみにしています。

A17 (リー・ホジキンソン) :

ありがとう、本を訳していただいて・・・これからだす本も日本のみなさんに気にいっていただき、おもしろく読んでもらえることを願っています。

『Don't Dip Your Chips』 Leigh Hodgkinson × Goto Kayoko conversation

LEIGH HODGKINSON



GOTO KAYOKO

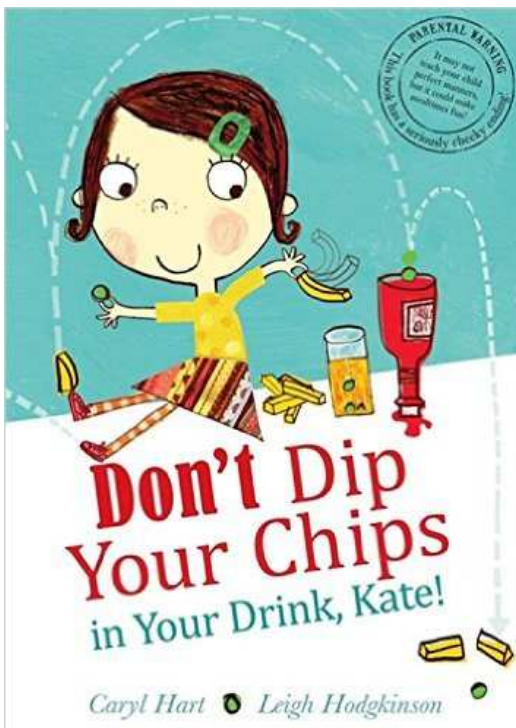


K1 (GOTO KAYOKO):

When I had the book in my hand, I was attracted to the pictures. Kate is such a lovely girl! Have you thought of a model for her?

L1 (LEIGH HODGKINSON):

I wanted her to be fun and spirited, and she has a little curl at the bottom of her hair (like I did when I was little). Her hair is a bit messy- but it is kept under control firmly with a clip.



K2 (GOTO KAYOKO):

This book was displayed and sold at the British Fair 2016 in several department stores (in different cities). One day an elderly woman have told me, " I'll read this book to my grandchild, but I 'd like to keep it as it's so lovely". The pictures, especially on the cover, are so catchy that even the adults have gotten attracted.

L2 (LEIGH HODGKINSON):

This is so lovely to hear and makes me very happy! I love the idea that adults are interested in picture books and images too. The idea that pictures are something childish and should be outgrown makes me very cross. We live in such a visual and image saturated world that this out dated notion simply isn't relevant or questionable any more- which is a good thing!

K3 (GOTO KAYOKO):

What have your children told you after reading over this book?

L3 (LEIGH HODGKINSON):

They ask me if they can go and have tea with the Queen!

K4 (GOTO KAYOKO):

Were you a girl like Kate, when you were child ?

L4 (LEIGH HODGKINSON):

I was a little bit. I didn't have very good table manners and whenever my mother tried to give me salad I would sneakily put it on my chair and sit on it during the meal so that I wouldn't have to eat it! After the meal, my mum would find flattened lettuce all squashed on my seat. She still reminds me of that and it makes our family laugh!

K5 (GOTO KAYOKO):

The story and the pictures are so harmonious! Could you tell us some stories on collaborating with Caryl? We are curious about how has this collaboration started and carried out.

L5 (LEIGH HODGKINSON):

I was sent Caryl's wonderful text by my agent and I just thought it was such fun. Up until that point I had never illustrated somebody else's text- only my own. But I loved all the descriptions and food items, and it just conjured up images of a huge palace with tiny little girls running around having the best time. (We decided on the Queen being a cheeky little girl just like Kate, as thought it would be more fun and engaging- and get away from the issue of the Queen resembling or not resembling our own real British Queen). I just had to illustrate it!

K6 (GOTO KAYOKO):

How have you been motivated to become an illustrator and an animator as well?

A writer as myself, I would like to spread and share about lots of 'delightful things', 'wonderful things', and 'wonderful people' in the world.

L6 (LEIGH HODGKINSON):

I think being creative is just part of who you are. I don't consciously try and motivate myself to do these things... it is more like that if I don't to these things (write, illustrate, animate, make things) I get sad and don't feel like myself at all. I always have a lot of ideas and get excited about possibilities... my ideas can be about a story, a craft thing I want to make, a painting, a product. I just love making things- I just can't understand it when people say they are bored... there are far too many interesting things to do to EVER get bored!

K7 (GOTO KAYOKO):

You have put several witty details of drawings in this book to have fun. I noticed Kate's middle and last name P. Green suggests pea and she wears the dress coloured green peas. Is that the right guess?

L7 (LEIGH HODGKINSON):

Yes, that is correct... well done! I love putting little jokes and clues and details in for people to spot. In a book, children love to notice these things, and a book is a very special thing as you can look at one page/image for as long as you like. I like the idea that new little things can be spotted when you read the book again and again. Like for example the page when her mother tells her to leave the table and go upstairs, you might notice that Kate leaves the food on her plate in a sad face.

K8 (GOTO KAYOKO):

Which part of the pictures did you have tough time with?

L8 (LEIGH HODGKINSON):

There are things when I write my own stories that I never never include.... horses, bicycles, and cars... as I have absolutely no interest in them and drawing them is impossible for me. So, when I noticed that there was a car in this book (who takes Kate to the palace) I was a little worried! But actually, when I confronted my fear and drew the car (a nice, beautiful old fashioned stylish one) – I actually enjoyed it. And I love that image now!

K9 (GOTO KAYOKO):

Which pages or parts are your most favorite ones in this book?

L9 (LEIGH HODGKINSON):

I love the parts in the palace. I love the scale of the small children in the huge palace. I also really loved drawing all of the yummy cakes. The studio where I worked (in London at the time) was right next to a beautiful cake shop. So, I would visit the cake shop as "research"!

K10 (GOTO KAYOKO):

Japanese readers say " it's so sweet! " after just one look at this book. The bright and vivid collage is wonderful!

Have you got any special reason to put the collage for this book?

L10 (LEIGH HODGKINSON):

I have always loved working in collage- most of my artwork is a mix of mediums.

I like pattern, colour, texture how bold and graphic they look when they are put next to a flat solid colour or a strong ink line. I love the organic process of using different mediums. It is always fun and feels like playing rather than working.

K11 (GOTO KAYOKO):

This picture book is so lovely! What kind of impression have you got at the first time you had read the plot of the story?

L11 (LEIGH HODGKINSON):

I thought there was a lot of potential for full and vivid images. I loved the contrast of the different locations (Kates house and a royal palace). It felt like a really fast and fun rollercoaster ride of a story- and was a pleasure to be part of it.

K12 (GOTO KAYOKO):

I know you are a story writer and an illustrator. Has this book been the first work with another author as an illustrator? Have you enjoyed it?

L12 (LEIGH HODGKINSON):

Yes, this was the first book I have illustrated that was written by somebody else. I have illustrated the second book of Kate and her family (the second book is about her brother Fred, and is about getting dressed called "Don't put Your Pants on your Head Fred"). I have also illustrated for a few other authors too now. I do enjoy it- it is a different experience when you illustrate somebody else's words.... it keeps you on your toes and makes you do things slightly differently than if you had written the text yourself.

K13 (GOTO KAYOKO):

Could you tell how different has it been illustrating the story of another author from that of your own picture book?

L13 (LEIGH HODGKINSON):

As I mentioned before- illustrating somebody else's words can sometimes feel less automatic and natural for me- but it helps keep you fresh and thinking about things in a different way... which I think is always important for maintaining creativity and interest.

K14 (GOTO KAYOKO):

I've lived in a local city of Japan since I was born. And I have heard you have lived in the countryside of the UK. Could you tell me the charm of your hometown?

L14 (LEIGH HODGKINSON):

I live in a lovely old town near the seaside called Lewes. It has an old castle, and lots of bookshops, coffee shops and pubs! We moved here as it has a real creative spirit and identity- which was important to us. There is a lot of creativity here, authors, painters, illustrators, musicians, makers of things... so it is easy to feel alive and inspired when you walk through the town and see people and notice things around you.

K15 (GOTO KAYOKO):

I drink coffee whenever I work on PC. And I know the British drink tea six times a day. Are you also drinking tea while you are working?

L15 (LEIGH HODGKINSON):

I always have a chai tea with honey in the morning... and then later in the day I like Lady Grey tea (which is like earl grey tea but with orange in it). I think it is a bit of a myth that British people drink lots of tea... I think for most of the people I know- coffee is more popular!

K16 (GOTO KAYOKO):

Could you give some messages to the Japanese readers?

L16 (LEIGH HODGKINSON):

I hope you enjoy my work, and thank you for reading it! It feels a great privilege to be doing the job I am doing, of writing and illustrating books for children. It is important to feel happy and passionate about your job I think- as you spend so much time working. I feel very lucky and happy to be doing this.

K17 (GOTO KAYOKO):

I am looking forward to translating another book of yours one day!

L17 (LEIGH HODGKINSON):

Thank you for translating the book.... I hope that Japanese people will like and enjoy other books I have made in the future!

